

■ 企画部 総合政策課 ■

1 総合計画の進行管理

平成 20 年度分 新米子市総合計画・数値目標の進捗状況調査の実施

(1) 調査の目的

平成 18 年度にスタートした「新米子市総合計画（米子いきいきプラン）」の数値目標の進捗状況を把握し、今後の計画推進に役立てるため、平成 20 年度分の進捗状況調査を実施した。

(2) 調査対象

新米子市総合計画基本計画の数値目標 71 項目を対象とした。

なお、数値目標のうち、「・・・している市民の割合」の 10 項目については、平成 20 年 5 月に実施した市民意識調査の結果とした。

また、制度改正により 1 項目の指標名を変更した。

【進捗状況調査対象数】

区 分	数値目標の総数
第 1 章 子育てを応援し、お年寄りが元気な米子	16
第 2 章 ゆとりある心豊かな米子	29
第 3 章 活力みなぎる米子	22
第 4 章 みんなのための市役所	4
数値目標数	71

(3) 目標達成度

目標達成度は、その状況から、つぎの「A～D」の 4 つの区分に分類した。

A＝目標を達成している

B＝概ね順調に進捗しており、目標を達成できる見込みである

C＝進捗状況が停滞しており、目標を達成するためには取り組みを強化していく必要がある

D＝基準値（17 年度現状値）を下回っている

(4) 調査結果

調査対象の 71 項目のうち、「既に目標を達成している」ものが 22 項目（31.0%）、「概ね順調に進捗しており、目標を達成できる見込みである」ものが 21 項目（29.6%）あり、これら 43 項目（60.6%）については順調に進捗している。

しかしながら、「基準値（平成 17 年度の現状値）を下回っている」ものが 13 項目（18.3%）、「進捗状況が停滞しており、目標を達成するためには取り組みを強化していく必要がある」ものが 15 項目（21.1%）あり、これら 28 項目（39.4%）については目標達成に向けて、更なる取り組みの強化・充実を図る必要がある。

昨年度と比較すると、取り組みを強化していく必要がある項目が若干増えているが、目標を達成している項目も増加しており、全体としては順調に推移している。

対象目標数	A達成済み	B概ね順調	C取組強化	D基準値以下
第1章 16	7 (43.8%)	3 (18.8%)	1 (6.3%)	5 (31.3%)
第2章 29	8 (27.6%)	10 (34.5%)	7 (24.1%)	4 (13.8%)
第3章 22	5 (22.7%)	7 (31.8%)	7 (31.8%)	3 (13.6%)
第4章 4	2 (50.0%)	1 (25.0%)	0 (0.0%)	1 (25.0%)
71	22 (31.0%)	21 (29.6%)	15 (21.1%)	13 (18.3%)

(注) 表示単位未満を四捨五入してあるため、章ごとの割合の合計が100%にならない場合がある。

2 平成22年まちづくりに関する市民アンケートの実施

(1) 調査目的

本市のまちづくりの指針となる「新米子市総合計画（米子いきいきプラン）」基本計画の最終年にあたり、これまでの成果を検証するとともに、次期総合計画の策定に向け、本市の現状や将来のまちづくりについての市民の意見や意向を把握することを目的として実施した。

(2) 調査対象・調査方法

調査対象 16歳以上の米子市民（平成6年1月1日以前に生まれた人）

調査方法 年代別構成人口比率により按分し、無作為に抽出した3,000人に対するアンケート調査票の郵送配付および回収

調査時期 平成22年1月～2月

(3) 回収結果

配布数 3,000

有効回収数 1,099

有効回収率 36.6%

(4) 質問項目

問1 回答者属性について

問2 現在の米子市での暮らしについて

問3 現状の満足度とまちづくりの重要度について

問4 地域福祉について

問5 米子市が力を入れて取り組むべき分野について

問6 米子市が取り組むべき課題やまちづくりの構想・提案などについて

3 行政評価の実施

(1) 事務事業評価

翌年度に行う予定の事務事業のうち、全ての新規事業と、継続事業のうち法令に基づき実施する義務的な事業等を除く事業（継続事務事業396本、新規事務事業27本）について評価を実施した。

評価は、各担当課による「1次評価」と、副市長を委員長とし各部長等で構成する事務事業評価委員会による「2次評価」の2段階で実施し、継続事務事業のあり方や新規事業の実施などについて検討を行った。

2次評価の結果は、次のとおりである。

ア 「継続事務事業における今後の方向性」の判断結果

現状維持	見直し 79本 (19.9%)			
	充実・拡大	効率化・改善	統合・縮小	廃止・休止
317本 (80.1%)	27本 (6.8%)	46本 (11.6%)	4本 (1.0%)	2本 (0.5%)

イ 「新規事務事業における実施等の区分」の判断結果

実 施	条件付実施	再 検 討
21本 (77.8%)	5本 (18.5%)	1本 (3.7%)

(2) 公共事業評価

ア 公共事業評価制度の概要

公共事業の効率性及び実施過程の透明性の向上を図るため、市が新たに実施しようとする大規模公共事業及び農林水産省、国土交通省及び経済産業省が所管する国庫補助事業のうち、事業採択後5年を経過しても未着工の事業や事業採択後10年を経過している継続中の事業等について、学識経験者5人で構成する「米子市公共事業評価委員会」に意見を求め、事業の必要性や効果等を客観的に評価し公表する公共事業評価を実施した。

イ 公共事業評価委員会の開催

日 時 平成22年2月4日(木) 午後1時30分から
平成22年2月10日(水) 午後1時30分から
場 所 米子市役所第2会議室

ウ 意見具申の内容

(ア) 市営五千石住宅建替事業の事前評価について

当該事業は実施とする。

(付帯意見)

- ・ 「公営住宅ストック総合活用計画」(平成15年3月作成)に基づく市営住宅建設計画は、その後に検討が進んでいる中心市街地の活性化など現在の米子市のまちづくりのビジョンや市民のニーズなどと合わなくなっており、今後、これらとの整合を図った対応をしていく必要がある。
- ・ 入居者の高齢化が進むなかで、高齢者が住みやすい居住環境の整備を図るため、ソフト、ハードの両面から再検討する必要がある。
- ・ 今後は、建替だけでなく、民間アパートの空室を活用して公営住宅ストックを確保する手法なども検討していく必要がある。

(イ) 準用河川堀川改修事業の再評価について

当該事業は継続実施とする。

(付帯意見)

- ・ 費用便益分析の結果などから事業効果は高いものと判断されるが、事業の長期化に伴い、周辺住民への精神的な負担も大きくなっている。住民の期待に応え、浸水被害の解消という事業目的を達成するため、早期完成に向けて最大限の努力をしていく必要がある。

4 合併関係事務

(1) 鳥取県市町村合併支援交付金

下表のとおり、平成 21 年度鳥取県市町村合併支援交付金の交付を受けた。

当該年度交付対象事業	算定基準額 (円)	交付額 (円)
「米子の景観 88 選」選定事業	500,000	250,000
「米子の宝 88 選」選定事業	500,000	250,000
歴史館資料データ作成委託事業	970,704	485,352
合 計	1,970,704	985,352

(2) 合併振興基金の造成

合併特例債を活用し、市民の連帯の強化及び地域振興に資する事業の実施に要する費用に充てるための合併振興基金に 500,000 千円を積み立てた。

5 米子市ロゴマーク、イメージキャラクターの活用

(1) イベント等への派遣

「ヨネギーズ」の着ぐるみを、「東京国際映画祭」に出場させた他、各種イベントに 70 回 (278 日間) 貸し出を実施した。

(2) ロゴマーク・イメージキャラクターが一緒に活用

米子市の各種印刷物をはじめ、職員の名刺や名札に活用されているほか、チラシ、リーフレットへの掲載等、民間事業者を含めて 54 件の使用申請があり、携帯電話の待ち受け画面合成素材としての活用、各種雑誌等への掲載、缶バッジ、携帯クリーナー、メモパッドに登用、食品類のパッケージ等に活用された。

(3) その他の活用

カレンダー「ゆるキャラめぐり 2010」に活用、その他、米子市ホームページ内で、壁紙、折り紙、マウスカーソル、デコメ等で活用されている。

ヨネギーズの携帯ストラップを作成し市のイベント等で米子市の PR に活用すると同時に民間事業者等により販売 (1 個 350 円) されている。

Twitter (ツイッター) を活用して随時米子市の行政情報や観光案内を配信した。

6 中心市街地活性化関係

(1) 中心市街地活性化基本計画関係

ア 中心市街地活性化基本計画の推進

「米子市中心市街地活性化基本計画」の推進について、下表のとおり会議を開催し検討を行った。

会 議 の 名 称	開催回数 (回)
米子市中心市街地活性化推進本部会議	2

イ 中心市街地総合情報発信事業に着手

中心市街地に関する様々な情報を広くインターネット等を通じて発信し、来街の動機付け及び生活利便性の向上を図ることにより、まちなかの活性化を推進する。

よなご・かえる通信ホームページの開設、かえる通信の発行 (2 回)

ウ 米子市中心市街地活性化基本計画第 2 回変更申請の認定

事業内容の検討を進めたことに伴う事業主体・実施時期の変更、及び都市再生整備計画を策定し国の支援

策を活用することとしたため、第2回目の変更申請を行い、平成22年3月23日付けで国の認定を受けた。

エ 都市再生整備計画の策定

国の支援策を活用し中心市街地活性化を推進するため、都市再生整備計画を策定した。

(ア) 計画策定に当たって市民の意見を参考とするため、平成21年10月1日から10月26日までの間、計画（素案）に対する市民意見の募集（パブリックコメント）を実施した。

(イ) 都市再生整備計画（米子市中心市街地地区）を策定し、平成22年3月25日付けで国に受理された。

(2) 中心市街地活性化協議会関係

ア 中心市街地活性化協議会への職員派遣

平成19年12月21日に設立された中心市街地活性化協議会事務局に、引き続き市職員1名を派遣し、官民一体となって計画推進を図れる体制とした。

イ 中心市街地活性化協議会負担金

中心市街地活性化協議会の活動を支援するため、事務局経費の一部を負担した。

中心市街地活性化協議会事務局運営費負担金 2,803,894円

7 中海市長会関係

(1) 市長会及び幹事会の開催

ア 市長会の開催

第1回：平成21年5月26日（火） 島根県市町村振興センター

- ① 平成20年度決算報告
- ② 平成21年度中海市長会補正予算（案）について
- ③ 定住自立圏構想について
松江市・米子市中心市宣言について

第2回：平成21年8月7日（金） 松江市役所八束支所

- ① 定住自立圏形成協定の検討経過報告
- ② 定住自立圏形成協定（案）について
- ③ イメージキャラクター「ウンパくん」の着ぐるみ完成報告

第3回：平成21年11月27日（金） 松江市役所八束支所

- ① 平成21年度事業中間報告
- ② 平成21年度決算見込報告
- ③ 平成21年度追加事業計画（案）について
- ④ 平成21年度特別会計予算（案）について
地域活性化・経済緊急対策臨時交付金（定住自立圏割増分）
- ⑤ 平成22年事業計画（案）について
- ⑥ 平成22年度予算（案）について
- ⑦ 平成22年度中海市長会役員・事務局体制（案）について
- ⑧ 中海圏域振興ビジョン・定住自立圏共生ビジョンの骨子（案）について
- ⑨ 中海市長会補助金等交付要綱（案）の制定について

第4回：平成22年3月30日（火） 松江市役所八束支所

- ① 平成 21 年度事業報告及び決算見込報告
平成 21 年度中海市長会事業報告
平成 21 年度中海市長会一般会計決算見込報告
平成 21 年度中海市長会特別会計決算見込報告
(環日本海貨客船航路就航支援補助金)
- ② 平成 21 年度定住自立圏形成協定関係事業報告及び決算見込報告
平成 21 年度定住自立圏形成協定関係事業報告
平成 21 年度定住自立圏形成協定関係特別会計決算見込み報告
(地域活性化・経済危機対策臨時交付金関係)
- ③ 消防指令業務の共同運用について
- ④ 中海圏域振興ビジョンの策定について
- ⑤ 定住自立圏共生ビジョンの策定について
- ⑥ 中海市長会規約の一部改正について
- ⑦ 平成 22 年度中海市長会事業計画について
- ⑧ 平成 22 年度中海市長会一般会計予算について
- ⑨ 平成 22 年度中海市長会特別会計について
(環日本海貨客船航路就航支援補助金)
- ⑩ 中海市長会役員体制について

イ 幹事会の開催

第1回：平成 21 年 7 月 24 日（金） 松江市役所八束支所

- ① 定住自立圏構想の中心市宣言に至る経過について
- ② 定住自立圏構想について
- ③ 中心市宣言について
- ④ 作業部会について
- ⑤ 定住自立圏形成協定（案）について

第2回：平成 21 年 8 月 20 日（木） 松江市役所八束支所

- ① 定住自立圏構想のスケジュール報告
- ② 中海圏域の定住自立圏の形成に関する協定（案）の確認について
- ③ ホームページへの公表日程について（調印式 10 月 7 日）

第3回：平成 21 年 11 月 21 日（土） 松江市役所八束支所

- ① 11 月 27 日開催の中海市長会についての調整

第4回：平成 22 年 1 月 8 日（金） 松江市役所八束支所

- ① 今後のスケジュールについて
- ② 中海圏域振興ビジョンの公表原案について
- ③ 定住自立圏共生ビジョン（案）について
- ④ 今後の課題について

第5回：平成 22 年 3 月 27 日（土） 松江市役所八束支所

- ① 3 月 30 日開催の中海市長会についての調整

(2) 事業

ア 中海圏域振興ビジョンの策定

中海圏域が一体的に発展していくための指針となる圏域の将来像を提案するために「中海圏域振興ビジョン」を策定した。

キャッチフレーズ「出会いは なかうみ 動きだす 未来」

圏域発展を牽引する三つの方向性 「なかうみで出会う」「なかうみを守る」「なかうみで創る」

圏域発展を支えるひとつの基盤 「なかうみをつなげる」

イ 中海市長会シンポジウム

平成 22 年 2 月 18 日（木） くにびきメッセ国際会議場

基調報告「中海圏域振興ビジョンについて」 松江市長 松浦正敬

「定住自立圏構想と今後の取組について」 米子市長 野坂康夫

パネルディスカッション「中海圏域における広域連携」

ウ 中海圏域の情報発信

4 市 1 町の一体感の醸成を図り、中海圏域を内外に認知してもらうための各種事業を実施した。

- ① ホームページに圏域統計情報の掲載（平成 22 年 2 月掲載）
- ② 中海圏域の共通ポスター・チラシによる圏域 PR の充実（平成 21 年 6 月配付）
- ③ イメージキャラクターによる圏域 PR の充実
ウンパくん着ぐるみ 出演イベント 15 回
- ④ 中海圏域産業技術展にウンパくんのデザイン入り受付看板設置
- ⑤ 道の駅本庄の記念切符にウンパくんのデザインが採用された。

エ 職員人事交流の実施

米子市と安来市、松江市と境港市の間で相互に職員を派遣し人事交流を行った。

オ カナダへの青少年海外研修事業は新型インフルエンザのため中止した。

カ 環日本貨客船航路就航支援事業

環日本海定期貨客船の運航支援をする者に対し、鳥取県と連携を図り支援を行った。

正式就航 平成 21 年 6 月 29 日

境港－東海港間 年間 73 往復、中海市長会支援額 29,200,000 円

キ 日本都市計画学会「国土広域地方計画研究会」「越境地域連携システム研究会」合同研究会の開催支援と職員の研修参加を行った。

平成 21 年 7 月 29 日 島根県市町村振興センター（松江市）

ク 「定住自立圏」全国市町村長サミット 2009 in 島根への開催協力

地元定住自立圏として、分科会への発表・サミットへの研修参加・中海市長会ブースの設置等の協力を行った。

平成 21 年 10 月 14 日～15 日 くにびきメッセ（松江市）

ケ 後援

- ・これからどうなる世界の経済・日本の景気（米子市） 平成21年7月24日
- ・「ニューカレドニアと南の島の水族館」（境港市） 平成21年7月24日～8月23日
- ・第2回日本海沿岸地域経済同友会代表幹事サミット（松江市） 平成 21 年 9 月 10 日
- ・第4回中海レガッタ（境港市） 平成21年9月27日
- ・美保関神社特別公演 旅歌語り 小椋佳（松江市） 平成 21 年 10 月 3 日
- ・第4回中海圏域産業技術展示商談会（境港市） 平成 21 年 10 月 23 日
- ・浅田次郎原作 映画「銀の雨」（鳥取・島根） 平成 21 年 10 月 31 日

・第5回なかうみマラソン全国大会（安来市）

平成21年11月1日

・全国アマモサミット2009（米子市・境港市）

平成21年11月6日～7日

(3) 中海市長会事務局の体制強化

中海市長会事務局（松江市役所企画調整課内）へ職員1名を派遣し、中海圏域振興ビジョンの策定、定住自立圏の取組等に向け事務局の体制強化を図った。

8 鳥取県西部地域振興協議会（事務局）

(1) 協議会・幹事会・連絡会議の開催

ア 協議会の開催

平成21年5月29日（金） ホテル大山

- ① 役員改選
- ② 平成20年度事業報告及び決算報告
- ③ 平成21年度事業計画及び予算
- ④ 企業誘致に関する連携の検討について
- ⑤ 移住定住に関する情報共有化の検討について
- ⑥ 定住自立圏構想及び中海市長会について
- ⑦ ふるさと市町村圏基金について

イ 幹事会の開催

平成21年5月25日（月） うなばら荘

- ① 役員改選
- ② 平成20年度事業報告及び決算報告
- ③ 平成21年度事業計画及び予算
- ④ 企業誘致に関する連携の検討について
- ⑤ 移住定住に関する情報共有化の検討について
- ⑥ 定住自立圏構想及び中海市長会について
- ⑦ ふるさと市町村圏基金について

ウ 連絡会議の開催

平成21年5月13日（水） 米子市役所605会議室

- ① 役員改選
- ② 平成20年度事業報告及び決算報告
- ③ 平成21年度事業計画及び予算
- ④ 鳥取県西部市町村企業誘致協議会（仮称）の設立について
- ⑤ 定住自立圏構想及び中海市長会について
- ⑥ ふるさと市町村圏基金について

平成22年2月23日（火） 米子市役所402会議室

- ① 要望活動について（報告）
- ② 鳥取県西部企業誘致・定住促進協議会（仮称）の検討について
- ③ 商業登記所の体制整備について
- ④ ドクターカーについて
- ⑤ 旅券発行業務について

(2) 要望活動

- ア 平成21年 8月7日 西日本高速道路(株)中国支社 要望活動
中国横断自動車道岡山米子線(米子IC～蒜山IC)四車線化について
協議会会長米子市長(企画部長)が要望書提出
- イ 平成21年11月2日 鳥取県知事 要望活動
第64回全国植樹祭の開催地誘致について
協議会副会長日吉津村長が要望書提出

9 西日本中央連携軸沿線都市連携推進協議会

広域交流圏づくりに不可欠な、道路を始めとする基幹的な社会資本の整備促進について関係省庁に対する要望活動を行なった他、スポーツ交流事業を実施した。

10 定住自立圏構想関係

中海圏域の定住自立圏の形成に向けて、定住自立圏構想推進要綱(平成20年12月26日総行応第39号)にもとづき、共同中心市宣言、定住自立圏形成協定の締結、定住自立圏共生ビジョンの策定を行った。

中心市(共同中心市) 米子市・松江市

周辺市 安来市・境港市・東出雲町

(1) 共同中心市宣言 平成21年4月30日

松江市とともに中海圏域の中心市としてマネジメントを行っていく旨の中心市宣言書を公表した。

(2) 定住自立圏形成協定の締結 平成21年10月7日

4市1町の9月定例会において定住自立圏形成協定(案)の議決をえたうえで、3分野22項目について中心市(米子・松江)と境港市、安来市、東出雲町の間で協定を締結した。

ア 生活機能の強化にかかる政策分野

保健医療を担う病院への支援(4市1町)

圏域内の保育所情報の提供(4市1町)

障害者雇用・就労支援の促進(松江市、安来市、東出雲町)

体育・文化施設利用による住民交流の促進(4市1町)

図書館利用者登録の拡充(4市1町)

学校給食に圏域内の特産食材の使用(4市1町)

圏域の観光振興(4市1町)

「中海産業技術展」への支援(4市1町)

環日本海定期貨客船の安定運航に向けた支援(4市1町)

下水道のインフラ整備(米子市、境港市、安来市)

災害時の相互応援(4市1町)

大学等との連携の推進(4市1町)

環境保全の推進(4市1町)

各種廃棄物の効率的な処理等の検討(4市1町)

イ 結びつきやネットワークの強化にかかる政策分野

公共交通の利便性向上に向けた取組(4市1町)

コミュニティバスの運行(4市1町)

中海の湖岸を周遊できる道路の検討（４市１町）

中海架橋建設に向けた連携（４市１町）

「中海圏域振興ビジョン」の策定（４市１町）

圏域情報の共有化（４市１町）

ウ 圏域マネジメント能力の強化にかかる政策分野

職員派遣及び合同職員研修（４市１町）

外部から専門的な人材を共同で招へい（４市１町）

(3) 「中海圏域定住自立圏共生ビジョン」の策定 平成 22 年 3 月 30 日

定住自立圏の将来像とその実現に向け推進していく具体的取組の内容を記載した「中海圏域定住自立圏共生ビジョン」を策定した。策定にあたり共生ビジョン懇談会、パブリックコメント等を実施した。

ア 意見交換 27 団体、アンケート 61 団体 平成 21 年 9～10 月

イ 共生ビジョン懇談会

米子会場 平成 22 年 3 月 16 日

松江会場 平成 22 年 3 月 19 日

ウ パブリックコメント 平成 22 年 2 月 17 日～3 月 18 日（４市１町で実施）

(4) 構成市町連携の充実

中海圏域定住自立圏の取組を推進するため、構成 4 市 1 町の担当課長による作業部会と担当課長会を開催し、連携事業の検討及び事業実施に向けた調整等を行った。

作業部会	企画部会	4 回	福祉・医療部会	4 回
	教育部会	4 回	産業・観光部会	4 回
	総務部会	4 回	建設部会	4 回
担当課長会	企画課長会	13 回	観光課長会	5 回
	給食課長会	2 回	環境担当課長会	2 回
	都市計画担当課長会	1 回		

(5) 定住自立圏形成協定にもとづく連携事業の実施

平成 21 年度地域活性化・経済危機対策臨時交付金（定住自立圏中心市上乗せ分 松江市 121,024 千円 米子市 107,756 千円）を活用し、定住自立圏形成協定にもとづく連携事業を中海市長会が事業主体となり実施した。

ア 保健医療を担う病院への支援

① 鳥取大学医学部附属病院 救命救急センター増築工事事業	69,018,000 円
② 鳥取県済生会境港総合病院 血液透析装置更新整備事業	16,823,283 円
③ 松江市立病院 がん治療機器整備事業	97,262,000 円
④ 安来市立病院 フルデジタルカラー超音波装置等整備事業	20,227,000 円

イ 図書館利用者登録の拡充

ウ 学校給食に圏域内の特産食材を使用

境港のカニ 34,135 食 松江のしじみ 32,941 食

エ 圏域の観光振興

- ① 中海圏域観光情報を掲載した 6 カ国語の外国語パンフレットの作成
- ② パンフレットスタンドの配置
- ③ 外国語歓迎看板の設置

設置場所 境港国際旅客ターミナル内、JR境港駅前、米子空港ターミナル内

- ④ 電子辞書の配置
- ⑤ 中海圏域の景観を収録したフォトフレームを山陰たんのう店等に配置
- ⑥ ノベルティグッズ「ウンパくん」「ゲゲゲの女房」の作製
- ⑦ 観光2次交通関係調査・実証実験

実証実験 観光モニターバス4回運行・観光バス事業検討会4回

- ⑧ 関西圏を訪れる外国人観光客誘致に向けたインバウンド対策（旅行商品開発）

オ 公共交通の利便性向上に向けた取組

中海圏域内のJR・バス・コミュニティバス等の公共交通の路線網図を作成

カ 中海圏域の管内図と都市計画図の作成

4市1町を包含する管内図、都市計画図を作成

(6) 定住自立圏等民間投資促進交付金

定住自立圏等において圏域全体の暮らしに必要な都市機能等の確保に資する民間の取組に対し、経費の一部を国が県を通じて民間事業者へ交付し支援を行った。（総務省予算550億円から100億円に縮小）

募集期間 平成21年6月4日～9月1日

申請件数 9件

採択事業 1件

診療所整備事業（医療法人社団坂根矯正歯科 歯科医院移転新築及び歯科医療機器整備）

(7) 地域活性化・きめ細かな臨時交付金

地域活性化・きめ細かな臨時交付金（定住自立圏中心市上乗せ分48,448千円）を活用し、中海圏域住民が利用する市内の体育・文化施設の維持修繕を行った。

(8) 「定住自立圏構想」職員説明会の実施

定住自立圏構想の制度と中海圏域の取組について周知をはかるため、職員説明会を実施した。

開催日 平成21年5月27日（水）401会議室

出席人数 54人

11 移住定住推進事業

(1) 相談業務

企画部総合政策課内の「米子市移住定住相談窓口」によるUJIターン希望者の相談に対し、就職、子育て、医療、高齢者サービス、住宅等の紹介等をワンストップサービスで行なった。

県外（関西）で開催された、移住定住相談会（鳥取県UJIターンBig相談会）に参加し、UJIターン希望者の相談業務を行なったほか、米子市の魅力の情報発信と他市町村における取組施策の収集に努めた。

12 国政・県政に対する要望事項

米子市と米子市議会との協働により、国及び県に対し要望活動を行った。

【国政に対する要望事項】

- 1 北朝鮮による拉致被害者の早期帰国の実現と調査の徹底について 他22件
- 2 公共土木事業関係 直轄皆生海岸侵食対策事業の推進 他9件

【県政に対する要望事項】

- 1 北朝鮮による拉致被害者の早期帰国の実現と調査の徹底について 他20件

- 2 公共土木事業関係 米子境港自転車道線 他 45 件
- 3 公安委員会関係 国道 431 号市道下和田東 3 号線との交差点の信号機 他 18 件

13 市長会関係

市長会を通じて、国、県に対し要望活動を行なった。

【国政に対する要望事項】

北朝鮮による拉致被害者の早期帰国の実現と調査の徹底について 他 10 件

【県政に対する要望事項】

生活保護に係る級地区分の改善について 他 6 件

14 鳥取県西部広域行政管理組合

次の事務について、鳥取県西部広域行政管理組合で共同事務処理を行った。

- (1) 老人福祉施設（うなばら荘）運営管理
- (2) 介護、障害認定審査
- (3) 病院郡輪番制及び小児救急医療支援事業
- (4) 火葬場（桜の苑）運営管理
- (5) 不燃物中間処理場（リサイクルプラザ）、最終処分場、灰溶融施設（エコスラグセンター）、し尿処理施設（白浜浄化場、米子浄化場）運営管理
- (6) 消防本部及び消防署の設置運営
- (7) 視聴覚ライブラリーの運営

15 基地対策関係

- (1) 美保基地周辺環境整備の調整及び促進を行った。

中国四国防衛局補助事業

民生安定事業	1 件
特定防衛施設周辺整備調整交付金事業	2 件
美保基地周辺財産利活用事業	2 件

- (2) 米子飛行場周辺地域振興協議会の開催

総 会 平成 21 年 8 月 28 日

16 米子空港滑走路延長（2,500メートル化）関係

- (1) 米子空港滑走路延長事業に関する地元との調整は、8月28日の地元協議会において、取組み状況と地域振興計画の進捗状況等について、説明と報告を行ない承された。
- (2) 平成 21 年 10 月 31 日 米子空港連絡橋供用開始
- (3) 平成 21 年 12 月 17 日 米子空港滑走路 2500 m 供用開始

17 地方バス路線関係

- (1) 生活バス路線を維持するため、生活路線維持費補助金の支出を行った。

日ノ丸自動車株式会社

区 分			路線数	補助額 (単位 ; 円)	
生活路線 維持費補助金	運行費 補助金	国県補助対象路線	広域幹線路線	6	13,933,394
			広域路線	7	18,931,771
		単市補助対象路線 (市内完結路線)		10	20,198,384
合 計			23	53,063,549	

日本交通株式会社

区 分			路線数	補助額 (単位 ; 円)	
生活路線 維持費補助金	運行費 補助金	国県補助対象路線	広域幹線路線	2	5,242,486
			広域路線	4	15,502,722
		単市補助対象路線 (市内完結路線)		5	11,868,834
合 計			11	32,614,042	

(1) 米子市循環バス (愛称「だんだんバス」) 運行

路線バス活性化策の一助として、米子駅を発着し、大学病院など市内中心部を循環するコミュニティバスの運行を行った。

ル ー ト : 市内中心部 (米子駅→大学病院→ホープタウン前→天満屋前→ふれあいの里→
高島屋前→米子駅) での一方向周りの循環運行

運行回数 : 平日 25 便、土・日、祝日 23 便 (始発 8 時～終発 18 時 : 25 分間隔)

使用車両 : 市所有のノンステップバス (34 人乗り) 2 台

停 留 所 : 32 箇所 (市が設置)

料 金 : 中学生以上 1 人 1 回 150 円、小学生 100 円、障がい者等 50 円、幼児無料

回数券 : 150 円券 11 枚綴り 1500 円 100 円券 11 枚綴り 1000 円 50 円券 11
枚綴り 500 円

運行方法 : 市とバス事業者が協定を結び、運行するバス事業者に対し、運行経費から運賃収入を控除した
いわゆる赤字額 (21 年度 ; 10,044,228 円) を市が補填する。

利用者数 : 総乗車人員 143,309 人、

一日平均 393.7 人、一便平均 16.2 人 (幼児を含む)

(2) 米子市淀江町巡回バス (愛称「どんぐりコロコロ」) 運行

路線バスの廃止代替として、淀江駅または米子東病院を発着し、米子市淀江町全域を巡回するコミュニティバスの運行を行った。

ル ー ト : 便ごとにルートが異なり、淀江駅、白鳳高校、マリ医院、米子東病院、ジャスコ等を巡回
1 便あたりの所要時間 15 分～58 分

運行回数 : 平日・土曜 10 便、日、祝日運休 (始発 8 時 5 分～終発 15 時 54 分)

使用車両 : バス事業者所有のワンステップバス (35 人乗り) 1 台

停 留 所 : 51 箇所 (市が設置)

料 金 : 中学生以上 1 人 1 回 150 円、小学生 100 円、障がい者等 50 円、幼児無料

回数券 : 150 円券 11 枚綴り 1500 円 100 円券 11 枚綴り 1000 円 50 円券 11
枚綴り 500 円

運行方法 : 市がバス事業者に運行を委託し、運行経費から運賃収入を控除したいわゆる赤字額 (21 年度 ;

8,671,465円)を委託料として支払う。

利用者数：総乗車人員 11,190人、

一日平均37.7人、一便平均3.8人（幼児を含む）

(3) 米子市地域公共交通会議の開催

本市における生活交通に関連する事項について、道路運送法の規定に基づく米子市地域公共交通会議において検討した。

構成：学識経験者2名、事業者の組織する団体1名、バス事業者2名、住民又は利用者の代表7名、運転手が組織する団体1名、中国運輸局1名、警察1名、市職員1名 計16名

開催日：第1回 平成21年8月25日

第2回 平成22年3月18日

18 鉄道関係

(1) 山陰本線、福知山線の複線電化等について「山陰本線・福知山線複線電化促進期成同盟会」を通じて要望活動を行った。

(2) JR利用に関わる諸問題について、JR西日本米子支社との調整を行った。

(3) JR淀江駅前公衆便所の維持管理

19 航空路線関係

(1) 空港利用者の利便性向上のため、鳥取県、境港市と共同で米子空港駐車場を運営し、駐車場無料化を継続するとともに、米子空港駅の待合所の維持管理を行った。

(2) 米子空港の利用促進活動について、「米子空港利用促進懇話会」を通じ、各種利用促進活動、PR活動、航空会社に対する要望活動等を行った。

ア 平成21年8月18日～8月20日

中京地区への観光宣伝活動として、名古屋市内で開催の「妖怪フェスティバル」に観光ブースを設け、山陰観光と米子-名古屋線をPRした。

イ 平成21年9月19日～12月13日

観光の利便性、観光客の誘致を目的に、奇数日：出雲大社他、偶数日：大山、鳥取砂丘他へのコースを走る「湯～らんバス」を期間中毎日運行した。

ウ 平成21年9月26日

「空の日」の記念行事として行われる「米子空港まつり」を関係団体とともに開催した。

エ 平成22年3月25日

首都圏への観光宣伝活動として、東京で「さんいん食フェスタ」を開催し、山陰の食と観光のPRを行った。

オ 米子空港2500m化完了に伴うシンポジウムの開催、さらにハワイチャーター便をはじめ、国際チャーター便の運行支援を行った。

20 通信関係

通信業務の円滑な事業推進を図るため、関係諸団体との調整を行った。

アナログテレビ放送が終了し地上デジタル放送へ移行することに関して、各関係課との調整を行った。

総務省鳥取県テレビ受信者支援センターの市内全戸を対象とした説明会に協力した。

21 水源対策関係

(1) 賀祥ダム建設工事に係る水道局企業会計の負担に対し、次のとおり費用負担を行った。

ア 水道事業出資金 58,114,676円

イ 水道事業補助金 13,360,620円

(2) 浅山地区飲用水給水設備の修繕を行った。

(3) 旧淀江町簡易水道事業に係る水道事業債償還金の一部について、次のとおり費用負担を行った。

ア 水道事業出資金 3,531,641円

イ 水道事業補助金 1,908,045円

22 高等教育機関連携事業

(1) 高等教育機関の充実発展への支援

米子工業高等専門学校的发展と産学連携の強化を目的に、様々な事業を実施している米子工業高等専門学校振興協会の活動に対し、引き続き協力した。

平成21年度振興協会活動内容

ア 講演会・技術交流会（平成22年2月15日）

イ 産官学連携推進のための調査研究支援

ウ 共同研究支援

(2) 高等教育機関との連携の強化

鳥取大学と県内四市との連絡協議会への出席

鳥取大学と県内四市との連絡協議会に出席し、鳥取大学と米子市との連携のあり方、今後の方向性等について意見交換を行った。（平成21年11月10日開催）

23 交通バリアフリー推進協議会の設置関係

高齢者、障がい者等を含む、誰もが安心して活動し社会生活を営むことができる環境の整備を促進することを目的とし、策定した「米子市交通バリアフリー基本構想」（平成21年2月策定）で定めた各種事業の推進状況を評価、検討を目的とした「米子市交通バリアフリー推進協議会」を設置した。

① 協議会委員の構成

学識経験者 3人、公共交通事業者 4人、道路管理者 3人、行政関係者 3人、

利用者代表 10人、警察署 1人、商工関係者 1人、公募委員 1人

② 第1回「米子市交通バリアフリー推進協議会」の開催

開催日：平成22年1月28日

24 米子駅バリアフリー化の促進

米子駅のバリアフリー化を促進するため、JR西日米子支社とエレベーター、エスカレーター設置に伴う協定を締結した。

平成21年度米子市負担金 49,545,000円

25 国際交流事業

(1) 友好都市中国保定市

ア 米子市長への親書

平成 21 年 5 月 19 日に、米子市長再選に伴い保定市長よりお祝いの親書を受けた。

イ 「中国保定市との書画交流会」から書の寄附

平成 21 年 3 月 27 日から 31 日までの間、「中国保定市との書画交流会（会員 8 名）」が保定市を訪問し、「中華文人書画藝術研究院」並びに「保定市文化局書画院・常青書画院」の著名書画家と書画交流を行った。その際、保定市群家芸術館 劉 正（リュウ・セイ）副館長揮毫の「祈米子市発展 大展鴻図」の為書が持ち帰られ、米子市に寄附された。市役所本庁舎 1 階市民ホールに展示した。

(2) 姉妹都市韓国東草市

ア 米子市、東草市それぞれ相互に短期行政研修職員を派遣し、互いに行政施策についての研修を実施した。

(ア) 米子市派遣研修

派遣期間：平成 21 年 7 月 5 日～ 10 日（6 日間）

研修場所：東草市企画監査室国際交流係

派遣職員及び研修テーマ：石谷享司 青少年健全育成施策について

足立明子 韓国の健康保険制度、医療助成制度について

(イ) 東草市派遣研修

受入期間：平成 21 年 10 月 25 日～ 30 日（6 日間）

研修場所：米子市総合政策課国際交流室

受入職員：申 斗 英（シン・ドゥヨン）、劉 聖 宰（ユ・ソンジェ）

研修テーマ：・米子市の現況について

- ・GIS など地理情報の構築現況及び活用分野について
- ・固定資産税賦課に伴う土地情報の維持管理（電算化など）及び活用現況について
- ・住居表示の制度及び維持管理について
- ・公民館の運営実態及び特色あるカリキュラムについて

(ウ) 「雪嶽ロデオ通り」竣工に対する親書

東草市の市街地に「雪嶽ロデオ通り」が竣工したことに對し、平成 21 年 9 月、東草市長へお祝いの親書を送った。

イ 米子市東草市民間交流促進

両市の交流を市民レベルに拡大し定着させていくため、民間グループの交流について連絡調整等の支援を行い、交流の発展に寄与した。

ウ 観光客誘致促進

平成 22 年 1 月 29 日から 2 月 2 日にかけて、鳥取県西部地区日韓親善協会を中心に米子市内旅行社などで構成する訪韓団が東草市を訪問し、東草市長並びに米子市・東草市姉妹都市委員会長を表敬するとともに、観光客誘致促進方策について協議し、交流を深めた。

(3) 環日本海諸国との交流

ア 環日本海拠点都市会議の開催

第 15 回環日本海拠点都市会議が韓国・慶尚北道浦項市で開催され、市長他が参加し、参加都市代表者と環日本海地域の一体的な発展方策について協議した。

会議テーマ：環日本海地域の新たな飛躍

【議題 1】環日本海地域における産業及び R&D ネットワークの構築について

【議題 2】環日本海地域における物流ネットワークの促進について

開催期間：平成 21 年 8 月 18 日～ 21 日

開催日：平成 21 年 8 月 19 日

開催市：韓国・慶尚北道浦項市 浦項市庁ほか

参加都市：日本 / 米子市、境港市、鳥取市、新潟市

韓国 / 浦項市、束草市、東海市

中国 / 琿春市、図們市、延吉市

イ 韓国江原道市郡議会議長協議会市長並びに市議会議長表敬訪問

平成 21 年 6 月 30 日、韓国江原道市郡議会議長協議会のメンバー 14 人が来日、米子市長並びに市議会議長を表敬し、情報交換を行いながら、交流を深めた。

ウ 韓国東海市日本との交流活性化推進団訪問

平成 21 年 11 月 19 日と 11 月 26 日の 2 回にわたり、韓国・東海市の職員団（43 人）が環日本海定期貨客船航路の活性化及び交流の推進、グローバルマインドの醸成を目的に、研修として来日、米子市を訪問し、情報交換をしながら交流を深めた。

(4) 国際交流員の雇用

JETプログラムによる国際交流員を雇用し、海外との連絡調整、翻訳、通訳等の業務を通じて、友好姉妹都市交流事業の円滑化を図った。また市内公民館、小中学校などでの国際理解講座や市民を対象とした韓国語講座、中国語講座を開催し、更には「おでかけ交流員出張サービス」を実施するなど市民の国際意識の高揚を図った。

・国際交流員（韓国担当）：柳 潤 慶（リュウ・ユンキョン）

・国際交流員（中国担当）：夏 霊（シャ・リン）

(5) 友好都市児童画作品展

ア 国際児童美術交流展

期間：平成 21 年 6 月 11 日～15 日

会場：束草市文化会館

米子市をはじめとする束草市国内外友好都市の児童画作品展が開催された。

イ 国際児童絵画展

期間：平成 22 年 2 月 5 日～2 月 18 日

会場：米子市児童文化センター

米子市児童美術作品展に併せて、米子市の友好・姉妹都市、中国・保定市、韓国束草市及び高城郡の児童絵画を展示した。

(6) 地域国際化事業

ア 在住外国人及び地域国際化相談業務

来庁、電話等で寄せられる市内在住外国人の日常生活、言葉等に関する問題や一般市民からの地域国際化に関する問い合わせに対し、相談業務を行った。

イ 国際理解講座の開催

(ア) 市内の小学生（3 年～6 年）を対象に、中国・韓国文化を紹介する「国際理解講座（わくわくアジア体験くらぶ）」を開催し、小学生の国際意識の啓発に寄与した。

期間：平成 21 年 7 月～8 月に計 5 回

会場：児童文化センター、明道公民館 参加者：22 人

(イ) 市内の 65 歳以上の高齢者を対象に、中国・韓国文化を紹介する「国際理解講座（いきいきアジア体験くらぶ）」を開催し、高齢者の国際意識の啓発に寄与した。

期間：平成 21 年 9 月～ 10 月に計 5 回

会場：ふれあいの里、明道公民館 参加者：12 人

ウ ペらっとハングルスピーチコンテストの開催

鳥取県西部地区の住民を対象に韓国・朝鮮語のスピーチコンテストを開催し、日ごろの学習の成果を競いながら情報交換し、交流を図った。

開催日：平成 22 年 2 月 28 日

会場：米子市ふれあいの里大会議室 発表者：15 人（来場者約 180 人）

エ 民間交流支援

(ア) インド高校生市長表敬訪問

平成 21 年 5 月 18 日、フレンドシップ・フォース鳥取の招聘により、インドの高校生 18 人が米子市の高校生と交流を図ることを目的に来日、米子市長を表敬し、情報交換を行いながら交流を深めた。

(イ) 平成 21 年 5 月 21 日、米子市で演奏会を行うことに伴い、韓国の奇跡のピアニスト、イ・ヒアさんが来日、米子市長を表敬し、音楽の話に花を咲かせ、交流を深めた。

(ウ) ガールスカウト韓国連盟市長表敬訪問

平成 21 年 8 月 3 日、ガールスカウト日本連盟鳥取県支部の「日韓ガールスカウト交流事業イン鳥取」により、韓国のガールスカウト中・高校生 16 人が来日、米子市長を表敬し、交流を深めた。

(エ) ブラジル鳥取県人会会長米子市表敬訪問

平成 21 年 8 月 13 日、ブラジル鳥取県人会の本橋幹久会長が鳥取県西部地区の祭りや伝統芸能との交流を推進する目的で米子市を訪問、情報交換を行いながら交流を深めた。

(オ) 国際本派楊心流柔術ドイツ本部楊心館道場会員市長表敬訪問

平成 21 年 10 月 21 日、国際本派楊心流柔術ドイツチームのメンバー 4 人が米子市との文化交流と両国の古武道技術の向上を図ることを目的に来日、米子市長を表敬し、情報交換を行いながら交流を深めた。

(カ) ソウル芸術ロータリークラブ市長表敬訪問

平成 21 年 11 月 6 日、米子東ロータリークラブと友好提携を結んでいる韓国ソウル芸術ロータリークラブのメンバー 17 人が来日し、情報交換を行いながら交流を深めた。

オ 市民ボランティア育成事業

市内在住外国人の生活支援を目的とする市民ボランティア団体「米子国際交流協会」の活動に対し支援を行い、外国人にとって住みやすいまちづくりと草の根交流の促進を図った。

(ア) 広報紙の作成と配布及びホームページ公開

- ・広報紙「ワイズジャーナル」年 2 回発行（各 50 部）
- ・米子国際交流協会ホームページへのアクセス 年間 50 件（総数 12,514 件）

(イ) 各種交流事業の開催

- ・バーベキュー交流会（野外レクリエーション活動）

日時：平成 21 年 8 月 30 日 午後 4 時～6 時 場所：皆生海浜公園 参加者：60 人

- ・料理教室の開催（2 回）

日時：平成 21 年 6 月 28 日 フィリピン料理教室 場所：明道公民館 参加者：17 名

日時：平成 21 年 12 月 7 日 ルーマニア料理教室 場所：明道公民館 参加者：20 名

- ・第 6 回かぶりあ祭参加

日時：平成 22 年 3 月 7 日 午前 10 時～午後 3 時 場所：米子市文化ホール

米子市男女共同参画センター主催の「第6回かぶりあ祭」に参加し、これまでの料理教室で紹介された料理の中からインドネシアの揚げバナナ、ロシアのボルシチを作りながら、参加者との交流を深めた。

・国際井戸端会議

日時：平成22年3月28日 午後2時～3時30分 場所：明道公民館 参加者：15名
中国内モンゴル出身のナリンさんを迎え、中国の少数民族の話を聞きながら、ことばの学習等で交流を深めた。

26 定額給付金支給事業

平成21年2月1日現在米子市に住民登録をしている人に、一人あたり12,000円（18歳未満及び65歳以上の人は20,000円）の定額給付金を支給する事業を平成20年度に引き続き実施し、申請を受理した世帯へ給付した。

	給付対象(A)	給付済み(B)	(B) / (A)
世帯数	62,872世帯	61,822世帯	98.3%
金額	2,305,416千円	2,290,444千円	99.4%